

五中校区スタンダード

－ 9年間を見通して、伝え合う力を高める－



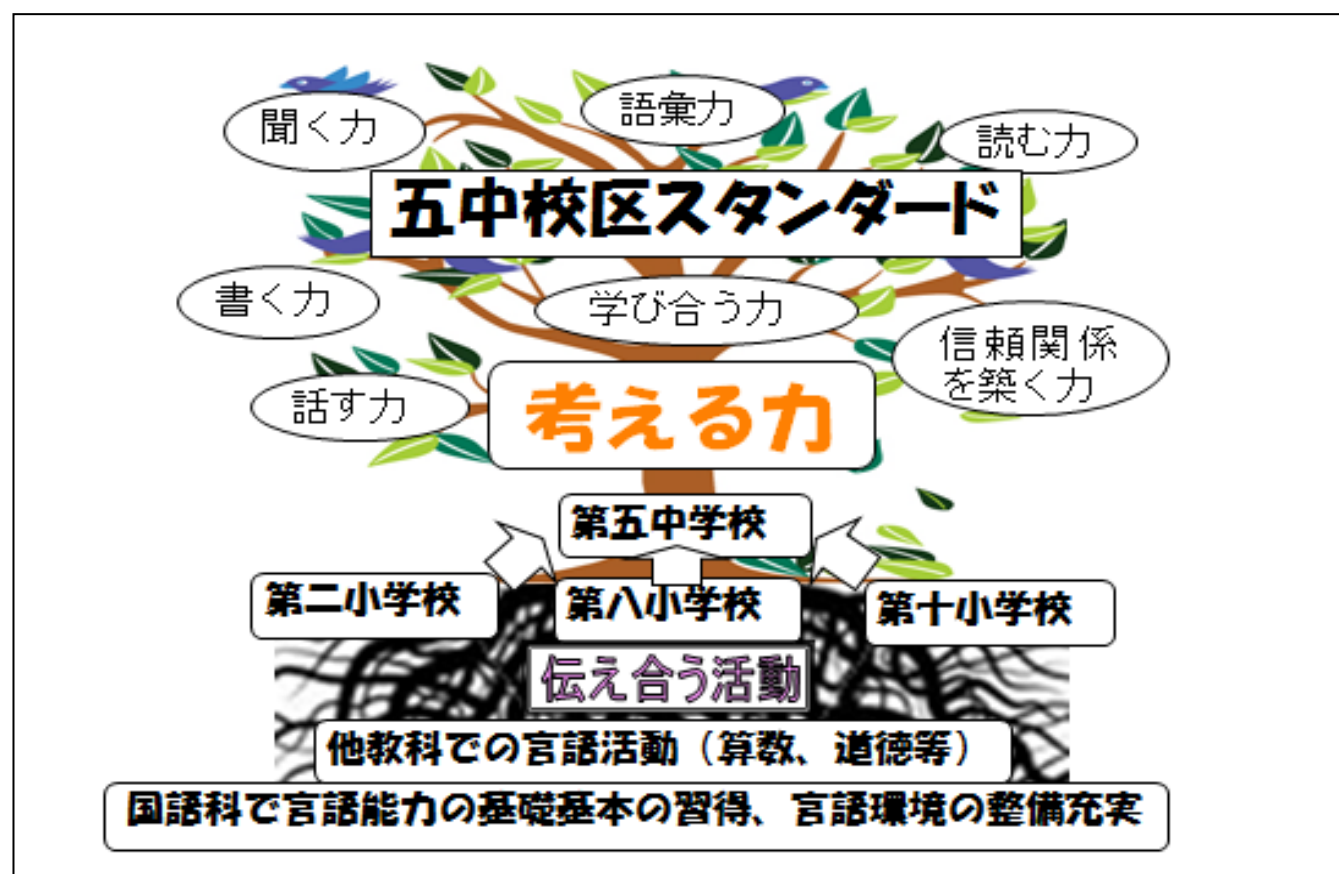
武蔵村山市立第二小学校 武蔵村山市立第八小学校
武蔵村山市立第十小学校 武蔵村山市立第五中学校

平成28年10月22日

五中校区研究構想図

五中校区合同研修テーマ

「発達段階に応じた五中校区スタンダードー9年間を見通して、伝え合う力を高めるー」



1 国語

学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①[国語]における 目指す児童・生徒像	②[国語]の習得内容についての 共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や 提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童	●話題を意識しながら進んで話したり、集中して聞いたりする児童	●「聞く態度」の重視 ○聞き手は、話し手の方を向いて聞く ○話は最後まで聞く	小学校 ●「声のものさし」、基本話型、話し合いの仕方などの型を統一し、統一した掲示物を用意して指導に生かしていく ●低学年・中学年での指導を丁寧にきちんと行い、高学年では、話し合いの仕方を習得する
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童	●物語や説明文の読解を通して、互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童	●「聞く」は、話を聞いて頷く、首をかきあげる ○いつもするのではなく、話の内容をよく聞いて行う ●「話す」は、自分の考えをもって、場に応じた声で話す ○話を聞いて、質問できるようにする	
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、計画的に話し合ったりする児童	●討論や話し合い活動において、自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、相手の意図をとらえながら聞いたりする児童	●これまでに学習した基本話型、言葉遣いなどを繰り返し確認しながら、話したり聞いたりする	
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性をとらえて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる生徒	●スピーチや討論の中で、話し合いの話題や方向性をとらえて的確に話したり、話題に合わせて聞いたりしながら、自分の考えをまとめる生徒	●掲示物を活用した型をもとにして、状況に応じた自分なりの話し方を身に付ける	中学校 ●小学校で統一して指導した内容・基本話型などを踏まえて、状況に応じた話し方や自分なりの話し方を指導する
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●小説や説明文の読解において、相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●集団討論の学習などでは、他のグループの様子を批評することにより、自分たちに生かせる	
授業規律の共通理解			《小中共通》 「学習の手引き」1ページの〈学習の心構え〉を、発達段階に応じて、丁寧に、根気強く指導する	
《小学校》	●低学年では、「人の話をきちんと聞く」ことを繰り返し指導する ●中学年・高学年では、教員の指導に素直に従うように指導する			
《中学校》	●小学校での丁寧な指導をもとに、「小学校で学んだことは中学校でも生かせる」ことを伝え、根気強く指導する			

2 社会

学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①[社会]における 目指す児童・生徒像	②[社会]の習得内容についての 共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や 提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童			
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童	●地域社会の社会的事象から問をもち、進んで調べて表現したり、話し合ったりする児童	●地域の社会的事象について、調べて考えたことを新聞などに分かりやすく表現する	小学校 ●身近な地域学習(村山大島紬など)を、小学校で共通した内容にし、中学校で連携して取り組む ●社会科の基本的な用語を共通理解する
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、計画的に話し合ったりする児童	●複数の資料から必要な情報を読み取り、それを根拠として考えたことを表現したり、話し合ったりする児童	●地理、歴史、公民に関する社会的事象について意見をもち、討論などを通して考える	
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性をとらえて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる生徒	●資料を有効に活用して説明したり、自分の解釈を加えて論述したり、意見交換をしたりして、根拠をもとに考察・判断した結果を自分の言葉で表現する生徒	●地理・歴史ともに、基本的な用語や地名などを習得させ、新聞を活用して発表したり話し合ったりする	中学校 ●小学校で学んできた歴史や地理についての知識を活用した授業場面を意識的に設定する ●小学校の既習事項や副読本の情報を活用する ●身近な地域学習を、小中学校で連携して取り組む
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●習得した知識、概念や技能を活用して考えたことを説明したり、根拠をもとに自分の考えをまとめて論述したり、議論などを通して考えを深める生徒	●地理・歴史・公民ともに、基本的な用語などを習得させ、資料を適切に選択し、発表したり話し合ったりする	
授業規律の共通理解			《小中共通》 ●授業を行う上で特に大切にしていること ○先生や友達の話聞き、目と耳と心で聴き、考えて行動する ○私語をしたり、隣の人に迷惑をかけるようなことをしない	
《小学校》	●発言するときは、手を挙げて許可を受けてから発言する ●学習に必要な準備物を忘れない			
《中学校》	●学習に必要な準備物を忘れない			

3 算数・数学

学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①[算数・数学]における 目指す児童・生徒像	②[算数・数学]の習得内容について の共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や 提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童	●主語と述語を用いて理由を明確にして表現できる ●自分の考えを「まず」「次に」「そして」と順序立てて表現できる ●それぞれの考えや解決方法を聞き、よいものはどなか話し合うことができる	●10の合成分解 ●たし算・ひき算のひっ算 ●ものさし ●かけ算九九の徹底	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">文章題を 読み解く力</div> 小学校 中学校
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童	●結論を先に述べ、理由を説明できる ●算数の用語を用いて表現できる ●それぞれの考えや解決方法の共通点や相違点に気付くことができる	●かけ算のひっ算 ●わり算の徹底 ●コンパス・分度器を用いての作図 ●小数の簡単な計算(たし算・ひき算)	
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、計画的に話し合ったりする児童	●演繹的な考え方や帰納的な考え方などを用いて筋道立てて説明することができる ●それぞれの考えや解決方法の共通点を整理できる	●小数・分数の四則計算 ●割合・速さの簡単な文章題	
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性をとらえて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる生徒	●帰納、類推、演繹などの推論を用いて説明できる ●それぞれの考えや解決方法を論理的に考察し、一般性を導くことができる	●正負の計算 ●文字式の計算 ●方程式の解き方	
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●帰納、類推、演繹などの推論を用いて説明し伝え合うことができる ●それぞれの考えや解決方法を論理的に考察し、一般性を導くことができる	●関数とグラフ ●証明 ●因数分解 ●平方根	
授業規律の共通理解			《小中共通》 ①授業前 用具の準備をする(忘れ物をしない) チャイム着席で、前の時間の復習をして待つ ②授業中 先生の説明を注意深く聞く(集中する) しっかりノートを取る(黒板の内容+大切だと思うこと) ③持ち物 教科書、ノート、問題集、筆記用具、定規(コンパス)	
《小学校》	●黒板の内容をきちんと正確にノートに書く ●筆記用具…鉛筆、赤ペン			●9年間を通じて、話形をそろえる ●出前授業を行なう
《中学校》	●黒板の内容と、先生が授業中に言った大切なこともノートに書く ●筆記用具…シャープペンシル、3色ペン、蛍光ペン(必要があれば)			

4 理科

学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①[理科]における 目指す児童・生徒像	②[理科]の習得内容について の共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や 提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童			小学校 ●五中校区科学作品コンテスト
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童	●身近な自然に親しみ、楽しみながら実験をし、自分の考えをもち、結果を基に客観的に比べながら話し合う児童	●【科学的思考】比較・関係付けの力 ●【実験観察技能】基本的な実験器具の安全な使用法の習得	
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、計画的に話し合ったりする児童	●自分の考えの根拠(既習事項や生活経験)をはっきりともち、見通しをもって話し合ったり、結果を基に考察したことを話し合ったりする児童	●【科学的思考】条件制御・推論する力 ●【実験観察技能】進学に向けて発展的な実験器具の安全な使用法の習得	
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性をとらえて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる生徒	●目的に沿った予想を立て発言し、それぞれ発言を聞くことによって、より深く思考し、考察できる生徒	●【科学的思考】結果を分析して解釈し、表現する力 ●【科学的態度】科学的に考えたり、生命を尊重し自然環境の保全に寄与する態度 ●【実験観察技能】器具の取り扱いについての安全管理の徹底	中学校 ●出前授業(小学生を対象に中学校で理科の授業を行う)
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●科学的根拠を基に予想を立て、発言し、他者の発言を尊重しながら効果的に話し合いを展開しさらなる探究心を深めることができる生徒		
授業規律の共通理解			《小中共通》 ●9年間で安全に実験道具を使用することの徹底	
《小学校》	●実験道具を実験道具としてきちんと扱う指導			
《中学校》	●小学校の既習事項を利用した発展的な実験道具の使用法の習得			

5 音楽

学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①〔音楽〕における 目指す児童・生徒像	②〔音楽〕の習得内容についての 共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や 提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童	●友達の音や声、話をしっかりきける児童	●ペア学習を取り入れながら、音楽の授業に取り組む	小学校 ●部活動での連携 小学校5年以上を対象に、中学校の吹奏楽部と合同で課外活動する ●合唱コンクール合同開催 中学校で行う合唱コンクールに小学生も参加する ●小学校と中学校との距離的に離れていて難しい場合は、メディア媒体に演奏会やコンクールなどを記録し、お互いにデータを交換し鑑賞する。中学生の声の美しさに刺激を受けたり、将来にイメージや憧れをもったりすることができる
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童	●音楽を学ぶための基礎・基本を身に付け、楽しく表現できる児童	●ペアと少人数学習を取り入れながら、音楽の授業に取り組む	
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、計画的に話し合ったりする児童	●客観的に周囲の音や声をきき、表現に生かせる児童	●グループ学習やアンサンブルを取り入れながら音楽の授業に取り組む	
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性をとらえて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる生徒	●中学校の授業に興味や関心を持ち、進んで活動に取り組める生徒	●グループ学習やアンサンブルを、生徒が主体的に活動するように取り組む	中学校 ●小学校から中学校へと進級する時点で、音楽に対する「憧れ」「期待感」をもたせ引き継ぐことが、何よりも大切である
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●感性や技能をもとに、創造的に活動できる生徒	●リーダーを中心に、グループや全体練習を創造的に活動するように取り組む	
授業規律の共通理解			《小中共通》 ●チャイム着席の徹底 ●教室での挨拶の徹底 ●授業準備の徹底(忘れ物をなくす)	
《小学校》	●チャイム着席のため、担任引率での教室移動の徹底 ●教室に入ったら挨拶をする ●使用したものはきちんと片付ける			
《中学校》	●チャイム着席の徹底 ●挨拶の徹底 ●中学校生活でのやり方を改めて指導していく			

6 図画工作・美術

学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①〔図画工作・美術〕における 目指す児童・生徒像	②〔図画工作・美術〕の習得内容についての 共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や 提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童	●自分の思いについて考えたり表したりする児童	●作品の内容について話することができる ●自分の作品に題名を付けることができる	小学校 ●作品発表会 ○低学年：自分の作品について発表する ○中学年：作品についての感想を伝え合う ○高学年：ワークシートを用いた鑑賞活動を行う 【例】手紙カード、いいねカード、ふせんなど 《共通》 市内の作品展(小・中)の作品展を見合い、系統性・連続性を意識した指導に生かす
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童	●自分の作品と友だちの作品の思いを比べ、その違いや共通点を考え表現する児童	●作品の良いところを見付け伝えることができる。	
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、計画的に話し合ったりする児童	●作品の鑑賞を通して自分の思いや考えを広げ、意図やねらいをもって表現する児童	●友だちの作品の良いところを伝えたり、自分の作品に生かすことができる	
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性をとらえて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる生徒	●制作のねらいに沿って友人と意見交換しながら自分の意図を表現する生徒	●制作や鑑賞の場面で友人と意見交換することができる	中学校 ●意見交換会 ○自分の作品の意図について批評し合うことができる
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●友人の考えや意見を受容しながら自分の表現を深める生徒	●友人と意見交換しながら互いの作品を高め合うことができる	
授業規律の共通理解			《小中共通》 ●忘れ物をしない ●人やものを大切にする ●人の話を聴く ●片付けをきちんとする ●作品を大事にする	
《小学校》	●忘れ物をしない ●人やものを大切にする ●人の話を聴く ●片付けをきちんとする			
《中学校》	●チャイム着席を守る ●忘れ物をしない ●人やものを大切にする ●人の話を聴く ●片付けをきちんとする ●作品を大事にする		●私語については造形活動の広がりを促進するもの、児童・生徒の問題解決へとつながるものについては許容したいので、その際は、話の内容・音量・他の児童生徒の迷惑になっていないか、進度に妨げがないか等の面に注意しながら、指導をしていく	

7 技術・家庭

学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①〔技術・家庭〕における 目指す児童・生徒像	②〔技術・家庭〕の習得内容について の共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や 提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童			小学校
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童			
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、計画的に話し合ったりする児童	●計画に沿って友達と協力しながら活動する児童	●家庭での経験が技能差に現れる ●衣食住に関する基礎的な知識・技能を体験活動を通して身に付ける ●学年が上がるにつれ時数は減るが、教える内容は増える	
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性をとらえて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる生徒	●課題解決のため、工夫点や注意点を互いに話し合い、よりよい作業を目指す生徒	●家庭での経験が技能差に現れる ●衣食住に関する基礎的な知識・技能を体験活動を通して身に付ける ●体験させることの大切に行っている ●学年が上がるにつれ、教える内容は増える	中学校
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●学び合いを通し、習得した知識・技能を自身の生活に応用する生徒	●技能差がある ●家庭での経験がより大きな差になる ●体験させることを大切にしている ●3学年では、時数は減る	
授業規律の共通理解			《小中共通》 ①『安全に配慮した指導』 ②忘れ物が多いので、発達段階に応じた方法で忘れ物をさせない指導を工夫する	
《小学校》	●安全面に関して、基本的な用具の取り扱いを徹底している			
《中学校》	●限られた時間内に、効率よく準備、片付けが行えるように指導している			

8 体育

学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①〔保健体育(体育)〕における 目指す児童・生徒像	②〔保健体育(体育)〕の習得内容について の共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や 提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童	●進んで自分たちの活動の仕方やルールを話し合い工夫しようとする児童	●1年生では、具体的な技の習得より器具を使用した遊びを取り入れている ●技術的なことよりも、感覚的に運動に親しむことをねらいとしている	小学校
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童	●進んで活動の振り返りを話し合い、自らの力に応じて活動を工夫して運動の楽しさを広げる児童	●3・4年生では、低学年で親しんだものを高学年の運動につなげるということを意識させて取り組んでいる	
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、計画的に話し合ったりする児童	●ルールや役割の話し合いを大切に、みんなのまとまりをつくることのできる児童	●自分の立場や意図を把握しながら話し合いやアドバイスをできるようにしている ●具体的には、作戦・ルールの話し合いやお互いにアドバイスをし合うなど(ルールは能力や実態に合わせて工夫をしている)	
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性をとらえて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる生徒	●自己の能力を理解し、基礎的な技能や内容を身に付けようとする生徒 ●練習等を通して、ペア・グループからのアドバイスで課題を見付け、解決を図っていく生徒	●各自やペア・グループの仲間の能力や実態を理解し、それぞれに合った練習方法を選択させている ●チェックするポイントを提示し、お互いでアドバイスをし合う活動を行っている	中学校
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●積極的に運動に親しみ、集団としての規律を守ることのできる生徒 ●グループ活動において相手の立場や考えを尊重しながら話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●ルールについては、公式なものや簡易なものを合わせて取り組んでいる ●グループでの作戦の話し合いや、お互いをチェックし合うなどの工夫で話し合いを取り入れている	
授業規律の共通理解			《小中共通》 ●集合整列時、静かにさせて説明などを聞かせる ●準備運動や補強運動は、各学校で独自のものを行っている ●中学校では、授業の始まりで3学年共通ラジオ体操を実施 ●授業は小学校は男女共習、中学校では男女別習が基本 ●中学校では、毎年始め体力テストがあり、男子1500m、女子1000mの持久走がある ●小学校では、体力向上のため、学校それぞれで5分間走や1200m走(残堀川の周回コース)を実施 ●ペースを学習するために周回を増やすことで走りを変えるよう教えている	
《小学校》	●集合整列は、太鼓やサインで行っている ●体育時の服装は、夏は体操着短パンで共通である 冬場については、原則脱がせて行うが、気候や内容により長袖を着る場合もある			
《中学校》	●集合整列は、笛や声で行っている ●体育時の服装は、4月から11月は体操着短パンで共通だが、12月以降は気候によってジャージを着用する場合もある 五中内で統一して守らせている			

9 保健

学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①〔保健体育(保健)〕における 目指す児童・生徒像	②〔保健体育(保健)〕の習得内容について の共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や 提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童	●「早寝、早起き、朝ご飯」をモットーに、規則正しい生活習慣を送ることができる児童	●健康な生活を送るための行動を実践できる	小学校 ●保健室利用のルールを統一する ●健康診断等の結果より、五中校区の健康課題を出し合い、分析と対策を話し合う ●小学校で実践している保健指導や委員会活動の内、中学校でも実践できるものを継続または発展させて実践する
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童	●「早寝、早起き、朝ご飯」をモットーに、規則正しい生活習慣を送ることができる児童		
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、計画的に話し合ったりする児童	●「早寝、早起き、朝ご飯」をモットーに、規則正しい生活習慣を送ることができる児童		
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性をとらえて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる生徒	●「早寝、早起き、朝ご飯」をモットーに、規則正しい生活習慣を送ることができる児童		
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●「早寝、早起き、朝ご飯」をモットーに、規則正しい生活習慣を送ることができる児童		
保健室利用規律の共通理解	●保健室入室時は、自分のクラス、氏名を言ってから入室する ●なぜ入室したのか用件を言う ○「いつ、どこで、何をしていた、どうなった、だから××してほしい」 ●付き添いは入室しない	《小中共通》 ●保護者の意識を高める(保護者会で話をしたり、学校医に依頼して保護者を対象とした講演を行う) ●「歯科(むし歯)」「肥満」の現状を改善させる ●健康診断後の医療機関受診報告は、数回行う ●諦めずに情報を発信してアピールをし続ける		
《小学校》	●保健室入室する際は、授業の先生や学年の先生に許可をもらう ●自分のクラス、氏名、なぜ入室したのか用件を言う ○「いつ、どこで、何をしていた、どうなった、だから××してほしい」 ●保健室での休養は原則1時間			
《中学校》	●保健室入室する際は、授業の先生や学年の先生に許可をもらう ●自分のクラス、氏名、なぜ入室したのか用件を言う ○「いつ、どこで、何をしていた、どうなった、だから××してほしい」 ●保健室での休養は原則1時間			

10 英語活動・英語

学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①〔外国語活動・英語〕における 目指す児童・生徒像	②〔外国語活動・英語〕の習得内容 についての共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や 提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童	●英語に慣れ親しむ	●担任、英語支援員、ALTが連携する ●積極的にコミュニケーションをとらせるよう、楽しく身近な内容を多く取り入れる工夫をする	小学校 ●ゲームなどを通して英語に親しむ ●天気、色、形など、身の回りのことを表現できるようにする。ローマ字に触れる ●自分のことを伝え、友達からの情報を聞く活動を行う ●中学校で英単語を覚える助けとなるよう、ローマ字に触れる回数を増やす
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童	●英語に慣れ親しみ、コミュニケーションをとろうとする	●担任、英語支援員、ALTが連携する ●活動を多く取り入れる	
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、計画的に話し合ったりする児童	●英語に慣れ親しみ、積極的にコミュニケーションをとろうとする	●文部科学省のHi, Friends1/2を使用し授業を行っている ●アルファベットには取り組んでいる	
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性をとらえて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる生徒	●簡単な英文を読んだり書いたりできる ●簡単な英語を使ってコミュニケーションをとろうとする	●小学校で行っているもの+αで、書く活動が加わる ●文法的な知識も身に付けさせるようにする	中学校 ●文部科学省の「Hi, Friends1/2」で行っているインタビュー・スピーキング活動を発展させる ●文部科学省の「Hi, Friends1/2」で行っている活動を確認し、ライティング活動につなげる
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●4技能をバランスよく身に付け、英語で積極的にコミュニケーションをとろうとする	●英語で自分の考えを伝えることができるように、コミュニケーション活動を取り入れる ●教科書の英文に加え、都立高校の入試問題の長文などにも触れさせ、「読む」力を付けさせる	
授業規律の共通理解	①あいさつを大切に ②話を聞く時は、相手の方を向いて、しゃべらず聞く ③チャイム着席	《小中共通》 ①私語、勝手な立ち歩きをさせない ②教員やALTの英語、話を集中して聞く ③必要なものを持って来る。必要のないものは机に出さない ④教員の指示に従って、正しく活動する		
《小学校》	①必要な道具を持ってこさせる ②私語をさせない ③立ち歩かせない ④指示に従って活動させる			
《中学校》	①必要な道具を持ってこさせる ②私語をさせない ③立ち歩かせない ④指示に従って活動させる			

11 道徳

学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①〔道徳〕における 目指す児童・生徒像	②〔道徳〕の習得内容についての 共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や 提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童	●自分の考えや気持ちを言葉で伝えられる児童 ●相手の思っていることを理解できる児童	●資料の世界に浸り、自分の考えや気持ちを表現する	小学校 ●道徳の授業や道徳地区公開講座を相互に参観できるような体制作り ●小中の児童生徒の実態や発達段階の理解を深めるための、道徳担当者による、指導案や資料等の相互研修や意見交換会の実施
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童	●自分の意見と相手の意見を比べて、自他の感じ方や考え方について深く考えられる児童	●友達の考えや気持ちを聞き、自分の考えを深める ●価値について深く考え、自分自身を振り返る	
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、計画的に話し合ったりする児童	●互いの意見のよさや課題に気づき、伝え合う活動を通して自他のよりよい生き方について考えを深められる児童	●自己を他の人とのかかわりの中で捉え、望ましい人間関係の育成を図り、社会人としての適切な道徳性を身に付ける	
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性をとらえて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる生徒	●相手や目的を意識して自分の意見を述べたり、相手の意見を取り入れたりしながら自他のよりよい生き方について考えを深められる生徒	中学校 ●道徳教科化に向け、小中の一貫性をもった教材開発や指導体制の調整	
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●多様な考え方を認めながら討論し、人間としての正しい道徳観を深め、実践力を高められる生徒		
授業規律の共通理解	●授業の準備 ●提出物の徹底 ●ノートの取り方 ●話し合いのルール	《小中共通》 ●挨拶 ●返事 ●姿勢 ●話し方、発言の仕方 ●集中		
《小学校》	●授業の準備 ●提出物の徹底 ●ノートの取り方 ●話し合いのルール			
《中学校》	●授業の準備 ●提出物の徹底 ●ノートの取り方 ●話し合いのルール			

12 特別活動・児童会・生徒会

学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①〔特別活動(児童会・生徒会)〕における 目指す児童・生徒像	②〔特別活動(児童会・生徒会)〕の 習得内容についての共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や 提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童	●学級の課題について自分の考えをもち、表現できる児童	●自分の考えをもち、話し合いに積極的に取り組もうとする態度を育てる ●よりよい学級、学校作りに向けて考え、判断し、実践につなげる ●司会グループの仕事の内容や話し合いの進め方を理解させる	●五中サミットの実践 ○児童会、生徒会の代表者が集まり、自校の課題と成果を発表し合う ●小中連携の取り組み ○あいさつ運動およびペットボトルキャップ回収運動を五中校区の各小学校で小学生と五中生が協力して行う ○読み聞かせ活動を五中校区の各小学校で行う
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童	●学級・学年の課題について自分の考えを進んで発言し、みんなと話し合うことができる児童		
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、計画的に話し合ったりする児童	●学級・学年・学校の課題について自分の考えをもち、友達と話し合いながら、よりよい考えをみんなで作ることができる児童		
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性をとらえて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる生徒	●お互いの個性や持ち味を發揮し、思いや気付きを伝え合いながら、積極的にかかわり合うことができる生徒	●望ましい集団活動を通して、よりよい人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる	
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●お互いの存在を尊重し、多様な考えを練り合う中で、意欲的にかかわり高め合うことができる生徒		
授業規律の共通理解	●意見を言うときのルールや相手を思いやる発言の仕方など、一つ一つ丁寧な指導を心懸け、中学校につながるような先を見通した指導をする	《小中共通》 ●「学習の手引き」を踏まえ、発達段階に応じて、一つ一つ丁寧に、根気強く指導する		
《小学校》	●小学校での丁寧な指導をもとに、「小学校で学んだことは中学校でも生かせる」ことを伝え、さらに積極的に発言することやお互いを尊重する伝え方などを根気強く指導する			
《中学校》	●小学校での丁寧な指導をもとに、「小学校で学んだことは中学校でも生かせる」ことを伝え、さらに積極的に発言することやお互いを尊重する伝え方などを根気強く指導する			

13 読書活動

学年	五中校区の目指す児童・生徒像	①〔読書活動〕における 目指す児童・生徒像	②〔読書活動〕の習得内容について の共通理解	③小中連携を図るための、具体的な企画や 提案
小学校 低学年	●話題に沿って話したり、話し合ったりする児童	●話の筋の楽しさや、構成や表現の面白さに興味をもって読む児童		小学校並びに中学校 【読書に取り組む期間の取組】 ●お勤めの本紹介や読み聞かせの放送、紙芝居などを実施する(図書委員会) ●読み終えた本の題名を用紙に記録し、木に葉を増やしたり、魚などの形に見立てたりして掲示する ●放課後や屋休みを活用した読書時間の確保する 【ブックコマースナルなどの取組】 ●お勤め本のPOPを作成して掲示する(図書委員会・毎月更新) ●ブックコマースナルを読書旬間中に作成させ、掲示する(全学年・年間1回程度) ●ディスプレイに読書感想文の推薦図書を並べて掲示する ●調べ学習につなげるためのブックトークや、言葉の力やひ表現力を養うビブリオバトルなどを実施する 【年間を通した取組】 ●読書量を確保するため、「図書室の本を50冊読む」などを設定する(全学年) ●「読書量チャンピオン」を認定する(小学校・各学年) ●朝読書の時間、夏休み宿題として市内図書館でカードを作り図書を借りる課題を設ける(小学校・低学年) ●お勤めの本を「相手に面白さが伝わる」ように読み聞かせたり、ポスターセッションをしたりする課題を設ける 【今後の課題】 ●市内の図書館に足を運ぶ子供が少ないことから、「図書館探検」を町探検の学習の中に盛り込む ●中学生の小学生への読み聞かせなどの読書活動を通して、中学生の読書への取組や読書の楽しさを広げさせる
小学校 中学年	●互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、進んで話し合ったりする児童	●物語の展開や描写、説明や資料について、感想や意見をもちながら読む児童	●読書の楽しさを味わわせる ●読書の習慣を身に付けさせる ●目的をもった読書をさせる	
小学校 高学年	●自分の立場や意図をはっきりさせながら話したり、計画的に話し合ったりする児童	●物語の展開や描写、説明や資料について、より詳細な感想や根拠を伴った意見をもちながら読む児童		
中学校 1年生	●話し合いの話題や方向性をとらえて的確に話したり、それぞれの発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる生徒	●読書活動をととして、登場人物の心情を察したり、作者の意図を理解したりして、自己の意見をもつ生徒	●読み味わう視点を広げ、心を満たす読書をさせる	
中学校 2年生 3年生	●相手の立場や考えを尊重し、話し合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深める生徒	●読書活動をととして、登場人物の心情を察したり、作者の意図を理解したりして、自己の意見を発表する生徒		
授業規律の共通理解			《小中共通》 ●「学習の手引き」を踏まえ、発達段階に応じて、丁寧に、根気強く指導する	
《小学校》	●丁寧な指導を心懸け、中学校につながるような先を見通した指導をする			
《中学校》	●小学校での丁寧な指導をもとに、「小学校で学んだことは中学校でも生かせる」ことを伝え、根気強く指導する			

五中校区シンボルマーク (表紙)

縦に流れる4本の帯は、二小、八小、十小、五中の4つの学校を表しています。一つ一つの流れは細いけれど、4本集まれば大きな川となり、それが大海原に注ぎ、さらに大きく発展する様を表しています。